

契約当事者市町別の相談件数

令和7年度（令和7年4月～令和7年6月）

市町名	R7年度件数	R6年度件数	増減	対前年度比	市町名	R7年度件数	R6年度件数	増減	対前年度比
津市	96	97	-1	99.0%	朝日町	3	4	-1	75.0%
四日市市	39	50	-11	78.0%	川越町	9	5	4	180.0%
伊勢市	22	16	6	137.5%	多気町	7	8	-1	87.5%
松阪市	31	28	3	110.7%	明和町	3	12	-9	25.0%
桑名市	28	31	-3	90.3%	大台町	4	4	0	100.0%
鈴鹿市	20	16	4	125.0%	玉城町	2	2	0	100.0%
名張市	22	14	8	157.1%	度会町	5	3	2	166.7%
尾鷲市	5	0	5	—	大紀町	1	3	-2	33.3%
亀山市	9	8	1	112.5%	南伊勢町	3	2	1	150.0%
鳥羽市	3	4	-1	75.0%	紀北町	6	3	3	200.0%
熊野市	5	10	-5	50.0%	御浜町	5	3	2	166.7%
いなべ市	28	15	13	186.7%	紀宝町	4	2	2	200.0%
志摩市	9	4	5	225.0%					
伊賀市	17	23	-6	73.9%	県内不明	10	12	-2	83.3%
木曽岬町	2	5	-3	40.0%	県外・不明	28	20	8	140.0%
東員町	9	17	-8	52.9%					
菰野町	11	10	1	110.0%	合計	446	431	15	103.5%

相談件数は、県センターの所在地である津市が最も多く、続いて、四日市市、松阪市の順になっています。